

ATTRACTIVE
EXTERIOR



門構えはお客さまが家に入るとき、
初めに通る場所なので、その家の第一印象を決めるといってもいいでしょう。重厚感のある門、都会的ですっきりとしたデザインの門、レンガなどで暖かみを出したデザイン、タイル張りでシンブルに仕上げたものなど、素材やデザ

“家の顔”である
門はこだわりを
塀は防犯性も
意識して



新築や外観リフォームのときは、
家全体を印象つけるものとして、
庭や門塀などのエクステリアにも
こだわりたいもの。建物と外との
バランスを考えることで、よりす
てきな家ができるでしょう。

家の“衣装”であるからこそ、こだわりのデザインに

魅力的なエクステリア

家を新築リフォームするときは、建物の内装や設備選びに多く時間を割いて、エクステリアは後回し——という場合が多いかもしれません。家の中を快適にすることはもちろん大切ですが、エクステリアも外から見た家の印象を決める、いわば“家の衣装”のようなもの。家の外観や、近隣環境との調和とバランスを考慮し、魅力的なデザインにしたいものです。

例えば都市部であればスタイリッシュでプライベート感を保てるもの。自然の中に家があるのであれば、周囲の景観を楽しめる開放的なデザインに。また住宅街の場合は、周囲との調和と独立性を両立したデザインにするなど、工夫すべきポイントは多々あります。どのようなたたずまいの家にしたいかを意識することで、より快適な環境づくりができるでしょう。



“家の衣装”である
エクステリアは
周囲との調和を
意識

インでガラリと印象が変わります。建物の外観デザインや壁の素材・色合いなどと門塀とをそろえることで、その家全体の雰囲気が続えられるでしょう。

塀は家を囲み、道路から目隠しをすると同時に、隣家との境界をつくる効果もあります。ただし、背の高い塀で全体を囲ってしまつと、外から家の中が見えず、防犯面で問題があります。女性の目線で家の中が少し見える程度の、1.4メートルほどの高さの塀や植栽を意識するとよいでしょう。この程度の高さであれば、程よい通風や採光も得られるでしょう。通りからリビングなどが丸見えになる場合は、間に樹木を1本植えるだけで目隠しになります。また、エクステリアに照明を設置すれば、防犯面でも安心ですし、ライトアップがされて夜もすてきな外観を保てます。



おかげさまで
次回2/17号創刊700号!

家さがし

「家さがし」がおかげさまで次回の2月17日発行号で創刊700号に達します。その記念として、「発行700号記念プレゼント」をご用意していますので、ぜひご覧下さい!